



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月30日

東・名

上場会社名 大同特殊鋼株式会社

上場取引所

コード番号 5471

URL <http://www.daido.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 嶋尾 正

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 東 真一郎

(TEL) 052-963-7501

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

配当支払開始予定日

平成26年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績 (平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	238,917	7.6	8,664	△18.0	9,670	△12.4	4,116	△39.2
26年3月期第2四半期	222,123	△5.0	10,562	10.0	11,033	18.6	6,771	22.9

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 10,397百万円(△29.0%) 26年3月期第2四半期 14,642百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	9.49	—
26年3月期第2四半期	15.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	568,193	274,131	41.9
26年3月期	557,522	267,625	41.6

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 237,892百万円 26年3月期 232,153百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
27年3月期	—	3.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	3.50	6.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	490,000	7.0	20,000	5.4	22,000	8.4	10,000	△20.7	23.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	27年3月期2Q	434,487,693株	26年3月期	434,487,693株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	795,556株	26年3月期	783,783株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	27年3月期2Q	433,699,343株	26年3月期2Q	433,738,829株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は【添付資料】P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
4. 補足説明資料	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気の緩やかな回復基調が続いているものの、個人消費については、消費税率引き上げ前の駆け込み需要の反動減や物価上昇に伴う実質所得低下の影響などから弱い動きが見られました。また、鉱工業生産についても需要の回復遅れから弱めの動きが続いておりますが、設備投資については、企業収益の改善を背景に回復基調を維持してまいりました。特殊鋼の主要需要先である自動車・産業機械需要に関しては、米国自動車販売が好調であったことに加え、設備投資の回復基調が継続していることなどから堅調に推移いたしました。このような経営環境のもと当社グループにおきましては、収益改善への取り組みを強化するとともに、グローバル・リーディング商品の拡販や次世代成長商品の拡大など、中期事業課題にも取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、昨年対比で売上数量が増加したことなどから、前年同期比167億94百万円増収の2,389億17百万円となりました。一方、経常利益につきましては、電力などのエネルギーコストやニッケル等原料価格の上昇分を吸収しきれなかったことなどから、前年同期比13億63百万円減益の96億70百万円となりました。また、投資有価証券評価損等もあり、四半期純利益は前年同期比26億55百万円減益の41億16百万円となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

①特殊鋼鋼材

特殊鋼鋼材部門につきましては、自動車および産業機械向け構造用鋼は消費税率引き上げに伴う反動減や中国での販売低迷により一部ユーザーで減産の動きがありましたが、輸出向け軸受材や産業機械向けの拡販などにより、前年売上数量は増加いたしました。工具鋼関連につきましては、消費増税後の影響が軽微であったことに加え、輸出向けを中心とした自動車関連需要が堅調であったことから、前年対比で売上数量は増加いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の特殊鋼鋼材の売上高は、売上数量の増加により前年同期比7.2%増加の950億80百万円となりましたが、営業利益につきましてはエネルギーコストの上昇影響等を受けたことから前年同期比16億45百万円減益の6億18百万円となりました。

②機能材料・磁性材料

ステンレス製品につきましては、建築関連等の市況品の荷動きが活発であったことに加え、HDD向け需要も堅調に推移したことから、売上高は増加いたしました。高合金製品に関しては、自動車関連が堅調に推移し売上高は増加いたしました。磁石製品については、IT、OA関連が減少する一方で、FA向けの復調、EPSなど自動車関連が相対的に堅調であったことから売上高は前年を上回りました。チタン製品に関しては、国内医療向けが復調する一方で、輸出製品が低迷したことから売上高は減少いたしました。粉末製品については、自動車関連が堅調であったことなどから、売上高は前年を上回りました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の機能材料・磁性材料の売上高は、全般に堅調な需要に支えられ、前年同期比11.6%増加の786億70百万円となりました。また、営業利益については、数量増加などにより前年同期比12億91百万円増益の67億4百万円となりました。

③自動車部品・産業機械部品

自由鍛造品につきましては、民間航空機向け需要が堅調に推移していることに加え、プラント関連の大口品の出荷があったことなどから、昨年対比で数量、売上高とも増加いたしました。型鍛造品については、東南アジア向けは低迷しているものの、新規拡販等が寄与し、昨年対比売上高は微増となりました。エンジンバルブ関連は、消費税率引き上げ影響は比較的軽微であったことに加え、北米向けが堅調に推移したことなどから、売上高は前年を上回りました。鋳鋼品、精密鋳造品に関しましては、砂型品からの撤退による影響はありましたが、ターボ関連製品の需要拡大により、前年比で売上高は増加となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の自動車部品・産業機械部品の売上高は、前年同期比4.5%増加の491億81百万円となりましたが、営業利益については、産業機械向け製品の内容構成悪化や、渋川工場でスラグ処理関連費用を計上したことなどから、前年同期比18億75百万円減益の3億98百万円となりました。

④エンジニアリング

エンジニアリング部門につきましては、ASEAN、中国向けを中心に基調は堅調を維持しておりますが、新設炉の売上対象が少なかったことから、売上高は前年比微減となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間のエンジニアリングの売上高は、前年同期比3.0%減少の107億55百万円となりました。営業損益については、工事案件の内容良化などから前年同期比4億1百万円増益の3億円となりました。

⑤流通・サービス

流通・サービス部門につきましては、商社部門の海外売上が増加したこと等から、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比9.9%増加の52億29百万円となりましたが、営業利益については前年同期比69百万円減益の6億45百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前期末に比べ106億71百万円増加し5,681億93百万円となりました。総資産の主な増加の内訳と要因は次のとおりです。

・「たな卸資産」の増加111億57百万円…主として生産量の増加に伴う増加。

また、当社グループの当第2四半期連結会計期間末の少数株主持分を含めた純資産額は、前期末に比べ65億6百万円増加し2,741億31百万円となりました。純資産額の主な増加の内訳と要因は次のとおりです。

・「その他有価証券評価差額金」の増加56億10百万円…主として保有株式の時価の上昇による増加。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は41.9%となり、前期末と比べ0.3ポイント上昇しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の日本経済は、消費税率引き上げの影響が薄れていく中で回復基調に返ることが期待されています。特殊鋼の主要需要先である自動車、および産業機械市場に関しても、国内自動車販売の底打ちや設備投資の増加傾向が続いていることから緩やかな回復基調が続くものと考えております。一方で、アメリカの金融緩和縮小による影響や中国経済の減速、および地政学的リスクの発生など景気の下押しリスクも大きく、これらの環境変化による需要動向を注視していく必要があると考えております。

このような経営環境の中、当社グループにおいては、徹底したコスト削減への取組みによって収益確保に努めるとともに、成長商品の拡大戦略を推進してまいります。

当期の連結業績につきましては、特殊鋼需要は概ね堅調なものの、一部の海外自動車生産の調整や上期に発生したニッケル等の原料価格の上昇影響、投資有価証券評価損の計上なども勘案し、前回(平成26年4月30日)公表した業績予想を修正しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)および「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文および退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務および勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を退職給付の支払見込期間および支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務および勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が3,626百万円減少、退職給付に係る負債が298百万円増加し、利益剰余金が2,448百万円減少しております。なお、損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	40,674	32,867
受取手形及び売掛金	100,719	101,343
たな卸資産	97,746	108,904
その他	9,118	9,376
貸倒引当金	△197	△176
流動資産合計	248,061	252,315
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	61,536	63,607
機械装置及び運搬具(純額)	77,812	76,972
その他(純額)	45,551	46,446
有形固定資産合計	184,900	187,026
無形固定資産		
のれん	163	137
その他	5,761	6,418
無形固定資産合計	5,925	6,556
投資その他の資産		
投資有価証券	81,649	87,737
退職給付に係る資産	28,785	26,409
その他	8,350	8,285
貸倒引当金	△150	△137
投資その他の資産合計	118,634	122,294
固定資産合計	309,460	315,878
資産合計	557,522	568,193

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	76,895	84,015
短期借入金	41,876	36,744
未払法人税等	3,507	2,196
賞与引当金	6,066	6,092
その他の引当金	543	294
その他	27,570	20,360
流動負債合計	156,460	149,704
固定負債		
社債	30,000	40,000
長期借入金	70,692	69,053
その他の引当金	1,338	1,257
退職給付に係る負債	7,312	7,785
その他	24,093	26,261
固定負債合計	133,437	144,357
負債合計	289,897	294,061
純資産の部		
株主資本		
資本金	37,172	37,172
資本剰余金	28,542	28,542
利益剰余金	146,079	146,662
自己株式	△370	△376
株主資本合計	211,423	212,000
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,642	22,252
繰延ヘッジ損益	0	△0
土地再評価差額金	1,654	1,654
為替換算調整勘定	1,228	1,060
退職給付に係る調整累計額	1,203	924
その他の包括利益累計額合計	20,729	25,892
少数株主持分	35,472	36,239
純資産合計	267,625	274,131
負債純資産合計	557,522	568,193

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	222,123	238,917
売上原価	187,805	205,760
売上総利益	34,317	33,156
販売費及び一般管理費	23,755	24,492
営業利益	10,562	8,664
営業外収益		
受取利息	70	101
受取配当金	754	1,039
持分法による投資利益	348	394
為替差益	520	158
その他	906	719
営業外収益合計	2,601	2,412
営業外費用		
支払利息	961	744
固定資産除却損	554	281
その他	613	380
営業外費用合計	2,130	1,406
経常利益	11,033	9,670
特別利益		
子会社清算益	—	111
投資有価証券売却益	—	101
固定資産売却益	745	—
その他	0	—
特別利益合計	746	212
特別損失		
投資有価証券評価損	—	1,589
たな卸資産廃棄損	121	—
その他	4	—
特別損失合計	125	1,589
税金等調整前四半期純利益	11,653	8,293
法人税、住民税及び事業税	3,120	2,606
法人税等調整額	792	557
法人税等合計	3,912	3,164
少数株主損益調整前四半期純利益	7,741	5,129
少数株主利益	970	1,012
四半期純利益	6,771	4,116

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	7,741	5,129
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,685	5,635
繰延ヘッジ損益	7	△1
為替換算調整勘定	1,133	△143
退職給付に係る調整額	—	△269
持分法適用会社に対する持分相当額	75	47
その他の包括利益合計	6,901	5,268
四半期包括利益	14,642	10,397
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,414	9,278
少数株主に係る四半期包括利益	1,228	1,118

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	11,653	8,293
減価償却費	9,352	10,650
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△96	△33
賞与引当金の増減額(△は減少)	52	27
退職給付引当金の増減額(△は減少)	113	—
その他の引当金の増減額(△は減少)	△368	△328
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	205
受取利息及び受取配当金	△825	△1,140
支払利息	961	744
為替差損益(△は益)	△199	△214
持分法による投資損益(△は益)	△348	△394
投資有価証券売却損益(△は益)	3	△100
投資有価証券評価損益(△は益)	—	1,589
有形固定資産売却損益(△は益)	△736	△12
有形固定資産除却損	587	290
売上債権の増減額(△は増加)	△3,305	△723
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,432	△11,323
仕入債務の増減額(△は減少)	5,414	7,201
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	—	△1,695
その他	△2,645	1,333
小計	16,179	14,370
利息及び配当金の受取額	827	1,331
利息の支払額	△1,014	△760
法人税等の支払額	△1,388	△3,864
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,603	11,077
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△75	△292
定期預金の払戻による収入	—	576
有形固定資産の取得による支出	△12,969	△21,476
有形固定資産の売却による収入	870	27
投資有価証券の取得による支出	△1,316	△1,666
投資有価証券の売却による収入	14	133
投資有価証券の償還による収入	—	3,000
貸付けによる支出	△158	△448
貸付金の回収による収入	242	265
その他	△1,309	△929
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,701	△20,810

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,634	3,497
長期借入れによる収入	17,371	700
長期借入金の返済による支出	△1,360	△10,740
社債の発行による収入	—	10,000
社債の償還による支出	△10,050	—
配当金の支払額	△653	△1,087
少数株主への配当金の支払額	△268	△262
その他	△210	△137
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,193	1,969
現金及び現金同等物に係る換算差額	302	235
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,398	△7,527
現金及び現金同等物の期首残高	51,643	39,905
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	1,031	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	56,073	32,377

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への 売上高	88,734	70,471	47,067	11,092	4,757	222,123	—	222,123
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	32,373	7,627	12,585	525	4,438	57,550	△57,550	—
計	121,107	78,098	59,653	11,618	9,195	279,673	△57,550	222,123
セグメント利益 又は損失(△)	2,263	5,412	2,273	△100	715	10,563	△0	10,562

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への 売上高	95,080	78,670	49,181	10,755	5,229	238,917	—	238,917
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	37,994	8,336	16,180	688	4,763	67,964	△67,964	—
計	133,075	87,006	65,362	11,444	9,992	306,881	△67,964	238,917
セグメント利益	618	6,704	398	300	645	8,666	△2	8,664

(注)1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足説明資料

平成26年10月30日
大同特殊鋼株式会社

平成27年3月期 第2四半期決算発表

連 結

(1) 当第2四半期のセグメント別売上高

(単位：百万円、%)

	26年9月 第2四半期	(前年同期差)	
		増減額	増減率
特殊鋼鋼材	95,080	6,346	7.2
機能材料・磁性材料	78,670	8,198	11.6
自動車・産業機械部品	49,181	2,114	4.5
エンジニアリング	10,755	-336	-3.0
流通・サービス	5,229	471	9.9
計	238,917	16,794	7.6

(2) 要約連結損益計算書(四半期累計期間)

(単位：百万円、%)

	26年9月 第2四半期	(前年同期差)	
		増減額	増減率
売上高	238,917	16,794	7.6
営業利益	8,664	-1,897	-18.0
営業外収益	2,412	-188	-
営業外費用	1,406	-723	-
経常利益	9,670	-1,363	-12.4
特別利益	212	-533	-
特別損失	1,589	1,464	-
税引前純利益	8,293	-3,360	-
法人税等	3,164	-748	-
少数株主利益	1,012	42	-
当期純利益	4,116	-2,655	-39.2

(3) 当第2四半期の経常利益増減要因(前年同期対比)

(単位：億円)

(参考：原料市況)

増益要因	金額	減益要因	金額
1. 販売数量増加	4.1	1. 原燃料等市況	5.9
2. 販売価格是正	2.2	2. 内容構成差他	3
3. 変動費改善	2	3. 固定費の増加	2.2
4. 営業外損益	6		
計(a)	7.1	計(b)	8.4
		差引(a)-(b)	-1.3

	25年9月 第2四半期	26年9月 第2四半期
H2建値 (千円/t)	27.2	28.0
ニッケル(LME) (\$/1b)	6.55	8.40
モリブデン(MD) (\$/1b)	10.1	13.2

(4) 要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期 26年3月末	当第2四半期 26年9月末	増減	科目	前期 26年3月末	当第2四半期 26年9月末	増減
流動資産	248,061	252,315	4,253	負債	289,897	294,061	4,164
現金	40,674	32,867	-7,807	営業債務	76,895	84,015	7,120
営業債権	100,719	101,343	624	有利子負債	143,085	146,470	3,385
たな卸資産	97,746	108,904	11,157	その他	69,916	63,575	-6,341
その他	8,921	9,200	278				
固定資産	309,460	315,878	6,417	純資産	267,625	274,131	6,506
有形固定資産	184,900	187,026	2,125	株主資本	211,423	212,000	577
無形固定資産	5,925	6,556	631	その他の包括利益 累計額	20,729	25,892	5,162
投資その他の資産	118,634	122,294	3,660	少数株主持分	35,472	36,239	766
資産合計	557,522	568,193	10,671	負債純資産合計	557,522	568,193	10,671

(5) 予想セグメント別売上高

(単位：百万円、%)

	予想	前期差	
	27年3月期	増減額	増減率
特殊鋼鋼材	193,900	9,799	5.3
機能材料・磁性材料	159,800	16,314	11.4
自動車・産業機械部品	102,100	5,098	5.3
エンジニアリング	23,700	-404	-1.7
流通・サービス	10,500	1,460	16.2
計	490,000	32,268	7.0

(6) 業績予想

(単位：百万円、%)

	予想	前期差	
	27年3月期	増減額	増減率
売上高	490,000	32,268	7.0
営業利益	20,000	1,022	5.4
経常利益	22,000	1,712	8.4
当期純利益	10,000	-2,616	-20.7

(7) 予想経常利益増減要因(前期対比)

(単位：億円)

(参考：原料市況)

増益要因	金額	減益要因	金額
1. 販売数量増加	78	1. 原燃料等市況	102
2. 販売価格是正	51	2. 内容構成差他	11
3. 変動費改善	30	3. 固定費の増加	36
4. 営業外損益	7		
計(a)	166	計(b)	149
		差引(a)-(b)	17

	前期 26年3月期	予想 27年3月期
H2 建値 (千円/t)	28.8	26.5
ニッケル(LME) (\$/1b)	6.51	8.20
モリブデン(MD) (\$/1b)	10.0	12.1

(8) 設備投資額(計画ベース)および減価償却費

(単位：百万円)

	前期(26年3月期)		当期(27年3月期)		増減額	
	上半期	通期	上半期	通期予想	上半期	通期
設備投資額	10,700	26,400	10,900	20,400	200	-6,000
減価償却費	9,352	20,052	10,650	22,000	1,297	1,948

(参考)業績の推移

(単位：百万円)

	実績				予想
	23年3月期	24年3月期	25年3月期	26年3月期	27年3月期
売上高	472,062	489,154	440,428	457,731	490,000
営業利益	32,730	31,533	15,425	18,977	20,000
経常利益	31,726	31,762	16,475	20,287	22,000
当期純利益	23,003	22,717	10,983	12,616	10,000